

サウジアラビアにおける食料品市場の概要

1) サウジアラビアにおける食料品市場の市場規模、推移、予測

サウジアラビアにおける大規模食品展示会である「Foodex Saudi」を主催する SUNAIDI EXPO & CONFERENCE 社によると、サウジアラビアにおける食料品の消費規模は 2019 年時点で約 700 億ドル（約 8 兆円）であると言われている。また、サウジアラビアにおける食料品の小売市場は 2019 年には 5 万店に達しており、2019 年から 2024 年までで年平均 8% 成長すると言われており、約 3,000 万人の人口のうち 50% 以上が 25 歳以下という比較的若い人口層において、食品市場は今後も堅調に拡大していくものであると考えられる。¹

英国のユーロモニター社によると、2020 年の小売店における加工食品の販売規模は 206 億米ドル（約 2.4 兆円）と、2016 年と比較すると 12.6% 増加している。また、ユーロモニター社の予測では、2025 年に同市場は 2020 年時点より 20.2% 成長した 260 億米ドルに達するとしている。この成長率は過去 5 年間の成長率よりも高く、サウジアラビアの加工食品市場が人口成長と経済成長による購買力の向上によって、大幅に成長していくことを暗示している。なお、同社はサウジアラビアにおいて特に今後、成長が見込まれる商品として、ペットフード、ベビーフード、米、パスタ、麺類、肉加工品、水産物加工品、穀物、ベーカリー品、スープ、スナック類を挙げている。

2) サウジアラビアにおける食料品市場の主要輸入品目、輸入国

本パートにおける食料品には以下の HS コード分類番号に分類される商品が含まれる。

HS コード	分類名（英語）	分類名（日本語）
02	Meat and edible meat offal	肉及び食用の内臓肉
03	Fish and crustaceans, molluscs and other aquatic invertebrates	魚並びに甲殻類、軟体動物及びその他の水棲無脊椎動物
4	Dairy produce; birds' eggs; natural honey; edible products of animal origin, not elsewhere ...	酪農品、鳥卵、天然はちみつ及び他の類に該当しない食用の動物性生産品動物性生産品（他の類に該当するものを除く。）
5	Products of animal origin, not elsewhere specified or included	動物性生産品（他の類に該当するものを除く。）

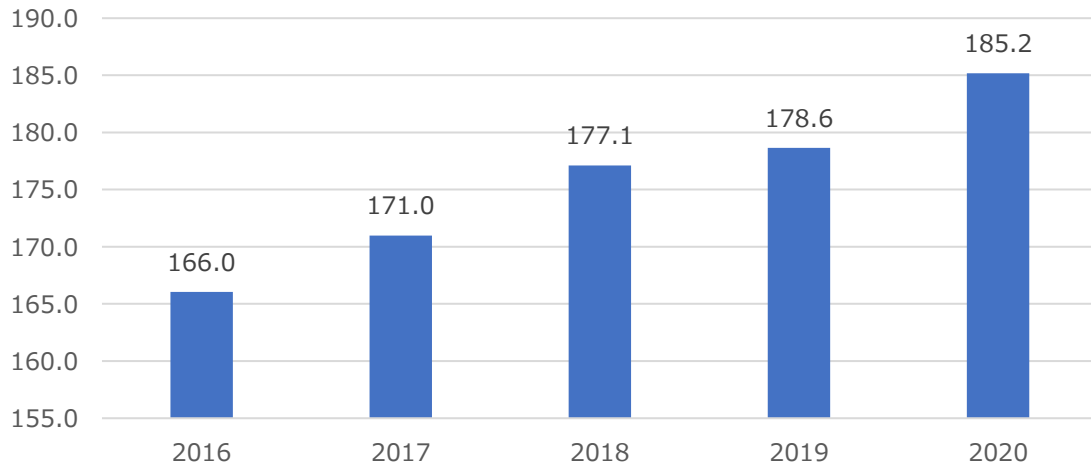
¹ <https://www.foodexsaudiexpo.com/en/about-saudi-food-market>

7	Edible vegetables and certain roots and tubers	食用の野菜、根及び塊茎
8	Edible fruit and nuts; peel of citrus fruit or melons	食用の果実及びナッツ、かんきつ類の果皮並びにメロンの皮
9	Coffee, tea, maté and spices	コーヒー、茶、マテ及び香辛料
10	Cereals	穀物
11	Products of the milling industry; malt; starches; inulin; wheat gluten	穀粉、加工穀物、麦芽、でん粉、イヌリン及び小麦グルテン
12	Oil seeds and oleaginous fruits; miscellaneous grains, seeds and fruit; industrial or medicinal ...	採油用の種及び果実、各種の種及び果実、工業用又は医薬用の植物並びにわら及び飼料用植物
13	Lac; gums, resins and other vegetable saps and extracts	ラック並びにガム、樹脂その他の植物性の液汁及びエキス
14	Vegetable plaiting materials; vegetable products not elsewhere specified or included	植物性の組物材料及び他の類に該当しない植物性生産品
15	Animal or vegetable fats and oils and their cleavage products; prepared edible fats; animal ...	動物性又は植物性の油脂及びその分解生産物、調製食用脂並びに動物性又は植物性のろう
16	Preparations of meat, of fish or of crustaceans, molluscs or other aquatic invertebrates	肉、魚又は甲殻類、軟体動物若しくはその他の水棲無脊椎動物の調製品
17	Sugars and sugar confectionery	糖類及び砂糖菓子
18	Cocoa and cocoa preparations	ココア及びその調製品
19	Preparations of cereals, flour, starch or milk; pastrycooks' products	穀物、穀粉、でん粉又はミルクの調製品及びベーカリー製品
20	Preparations of vegetables, fruit, nuts or other parts of plants	野菜、果実、ナッツその他植物の部分の調製品
21	Miscellaneous edible preparations	各種の調製食料品

サウジアラビアにおける食料品の輸入金額市場は、2016年時点で約166億米ドル（約1.9兆円）であったが、以降、年平均で約2.8%の成長を記録しており、2020年には約185億米ドル（約2.1

兆円) に達している。

図 1 : サウジアラビアにおける食品輸入市場規模の推移 (億 USD)



出所 : International Trade Statistics

2020年の輸入額が大きかった商品群は、第10類「穀物」の約29億ドル(約3,240億円)、第4類「酪農品、鳥卵、天然はちみつ及び他の類に該当しない食用の動物性生産品」の約22億ドル(約2,540億円)、第2類「肉及び食用の内臓肉」の約17億ドル(約1,960億円)であった。

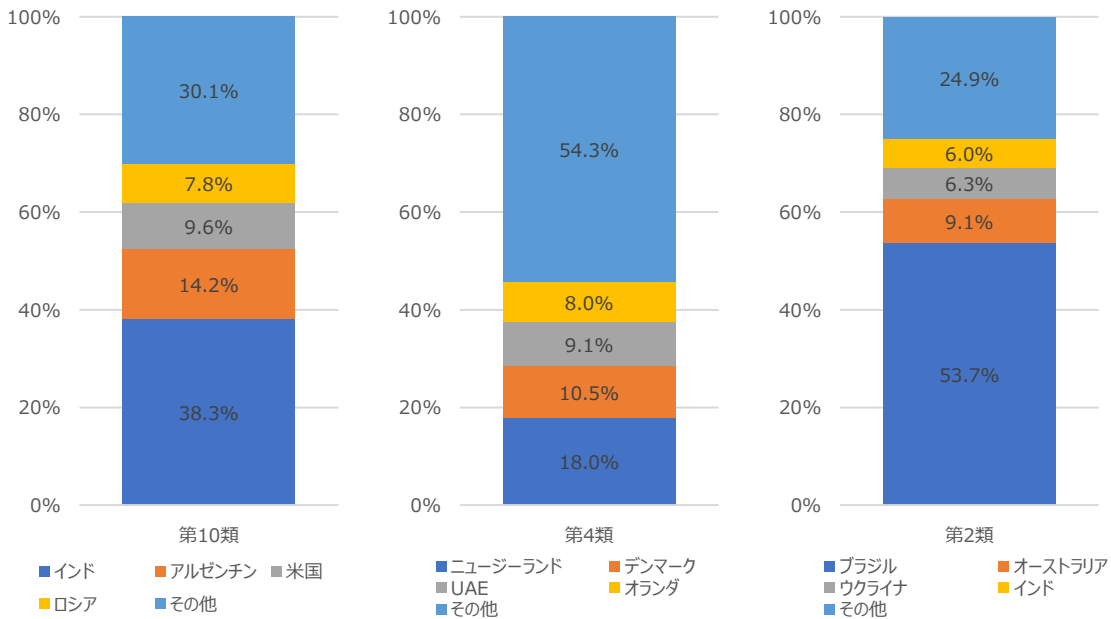
第10類「穀物」については、輸入が最も多かった国はインドで約11億ドル(約1,280億円)、以下、アルゼンチンの約4.1億ドル(約470億円)、米国の約2.8億ドル(約320億円)、ロシアの2.3億ドル(約260億円)と続く。

第4類「酪農品、鳥卵、天然はちみつ及び他の類に該当しない食用の動物性生産品」については、輸入が最も多かった国はニュージーランドで約4億ドル(約460億円)、以下、デンマークの約2.3億ドル(約270億円)、UAEの約2億ドル(約230億円)、オランダの約1.8億ドル(約210億円)と続く。

第2類「肉及び食用の内臓肉」については、輸入が最も多かった国はブラジルで約9.7億ドル(約1,120億円)、以下、オーストラリアの約1.6億ドル(約190億円)、ウクライナの約1.1億ドル(約131億円)、インドの約1.1億ドル(約126億円)と続く。

これらの結果を以下のグラフに示す。

図 2 : サウジアラビアにおける輸入規模が大きい食品分類の輸入元シェア (%)



出所：International Trade Statistics

3) サウジアラビアにおける食品市場の規制、認証制度

サウジアラビアへ食品を輸出する際には、輸入する製品の分類によって、輸入者が商業省およびサウジアラビア食品医薬品庁（SFDA）等関連省庁の許可を取得し、商品登録を行わなければならない。また、輸出に際しては、原産地証明書やインボイス、パッキングリストといった通常の食品輸出時に必要となる書類に加え、商品自体にアラビア語による原材料や栄養成分、製造日と賞味期限を記載したラベルを作成し、貼り付ける必要がある。

そのほか、水産物については、日本国内の加工・製造施設及び製品の SFDA への事前登録が必要となっており、登録がされていない水産加工施設において加工され、輸出される商品については、現地の輸入通関が通らないことに留意が必要である。

ハラール認証については、肉及び肉由来の原材料が含まれる加工食品については必要となり、その他の食品については原則不要である。そのため、例えば日本から現地へ輸出される商品でも数量の多い清涼飲料水や調味料といった商品についても、動物由来の原材料が含まれていない商品については、ハラール認証は不要である。仮に日本国内においてサウジアラビア向けのハラール認証を取得する場合は、湾岸諸国認証機関（GAC）から相互認証を受けている日本国内のハラール団体（例：日本ハラール協会等）によるハラール認証を受ける必要がある。

また、日本産牛肉については、農林水産省とサウジアラビア当局の間で、輸出解禁に向けた協議が進められており、2021年6月に政府間において日本産牛肉の輸出条件及び輸出検疫証明書様式について合意している。ただし、日本国内においてサウジアラビア当局がハラール認証を出した屠畜所がまだ存

在していないため、現時点でサウジアラビアへ日本産牛肉を輸出可能な施設はまだ登録されていない。実際の輸出は、サウジアラビア向け輸出食肉認定施設が認定されてからとなるため、現時点ではまだ日本産牛肉を正規に輸出することはできない状況にある。

そのほかの規制や必要な輸入手続き等については、SFDA のウェブサイトに記載されている食品輸入に必要な手続きと要求内容のページ²を確認したうえで、必要に応じて現地当局とのコミュニケーションを図る等し、個別商品に関する現地に輸入規制について確認をすることが推奨される。

4) サウジアラビアにおける食料品市場の主要小売店

ユーロモニター社によると、サウジアラビアにおいては、小売市場の約 59%がトラディショナルトレード（個人商店のようなパパママストア）を経由しており、約 41%がモダントレード（スーパーマーケットやハイパーマーケット等の小売店）を経由して行われていると考えられている。しかし、近年、モダントレードによるトラディショナルトレードの置き換えが進んでおり、トラディショナルトレードが占める割合は年々減少している状況である。これは、サウジアラビアにおいて都心部の都市開発が急速に進んでいることが起因している。サウジアラビアにおいて最も大きな小売店は Panda Retail Company で、サウジアラビア全土に約 230 店舗のハイパーマーケット及びスーパーマーケットの店舗を展開している。そのほかの小売店は、Othaim Supermarket が約 220 店舗、BinDawood Holdings が BinDawood 及び Danube の名称で約 70 店舗を展開している。

そのほか、やや高所得者層をターゲットとしている Tamimi Supermarket が約 50 店舗、UAE に本社を置く Lulu Hyperstore が約 40 店舗を展開している。また、UAE の最大手財閥である Majid Al Futtaim 社がフランチャイズ展開をするフランス系スーパーのカルフルも、同社がサウジアラビア国内でフランチャイズ展開を開始しており、約 20 店舗を国内において展開している。

5) サウジアラビアにおける食料品市場の主要見本市

サウジアラビアにおいて開催されている主要な食料品の見本市には、リヤドで開催され、450 社以上の参加が見込まれる Saudi Food Expo (<https://www.saudifoodexpo.com/why-exhibit-with-us>) や、ジエッダで開催され、2019 年には 230 社が出展した Foodex Saudi (<https://www.foodexsaudiexpo.com/en>) が挙げられる。どちらのイベントもサウジアラビアにおいて開催される国際展示会であり、周辺国のみならず欧州やアジアからの出展者及び来場者が見込まれる大規模なイベントである。

その他、リヤド及びダンマンで開催される HORECA（ホテル、レストラン、カフェ）向けの展示会である Saudi Horeca (<http://saudihoreca.com/Riyadh/EN/index.html>) は、2021 年には 245 社が出展しており、業務用の商品に特化した展示会という意味では最大である。

²https://old.sfda.gov.sa/en/food/about/administration/mangement_food/pages/edoifc-foodimportreq.aspx

6) サウジアラビアにおける食料品市場のトレンド

前述の通り、近年、サウジアラビアにおいてはモダントレードによる流通が急激に成長している。また、国際電気通信連合（ITU）の発表によると、サウジアラビアはスマートフォンの普及率で世界第3位であり、米国、英国、フランス、ドイツなどの国を上回っている。さらに、同国では、主にサウジアラビア政府がオンライン決済のセキュリティに向けて講じた安全対策の強化により、消費者の信頼が高まっているため、モバイル決済のシェアが今後拡大することが想定され、オンラインを通じた食品の購入も、今後、拡大していく可能性が高いと見込まれている。

以上

● 市場概況レポート「サウジアラビアにおける食料品市場の概要」（2022年3月）

- 作成：ジェトロ・ドバイ事務所、中小企業現地展開支援UAEプラットフォーム
35th Floor, #3503 - #3506, The One Tower, Barsha Heights, TECOM, Dubai, U.A.E.
- 調査：プラットフォーム・コーディネーター（ksn Research & Consulting）

【おことわり】本資料は「UAE 中小企業海外展開現地支援プラットフォーム事業」の一環として作成したものです。提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご利用下さい。ジェトロではできるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本資料で提供した内容に関連して不利益等を被るような事態が生じたとしても、一切の責任を負いかねますので、予めご了承下さい。